

平成29年 横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向

1 HIV感染者・エイズ患者の報告数と相談・検査件数

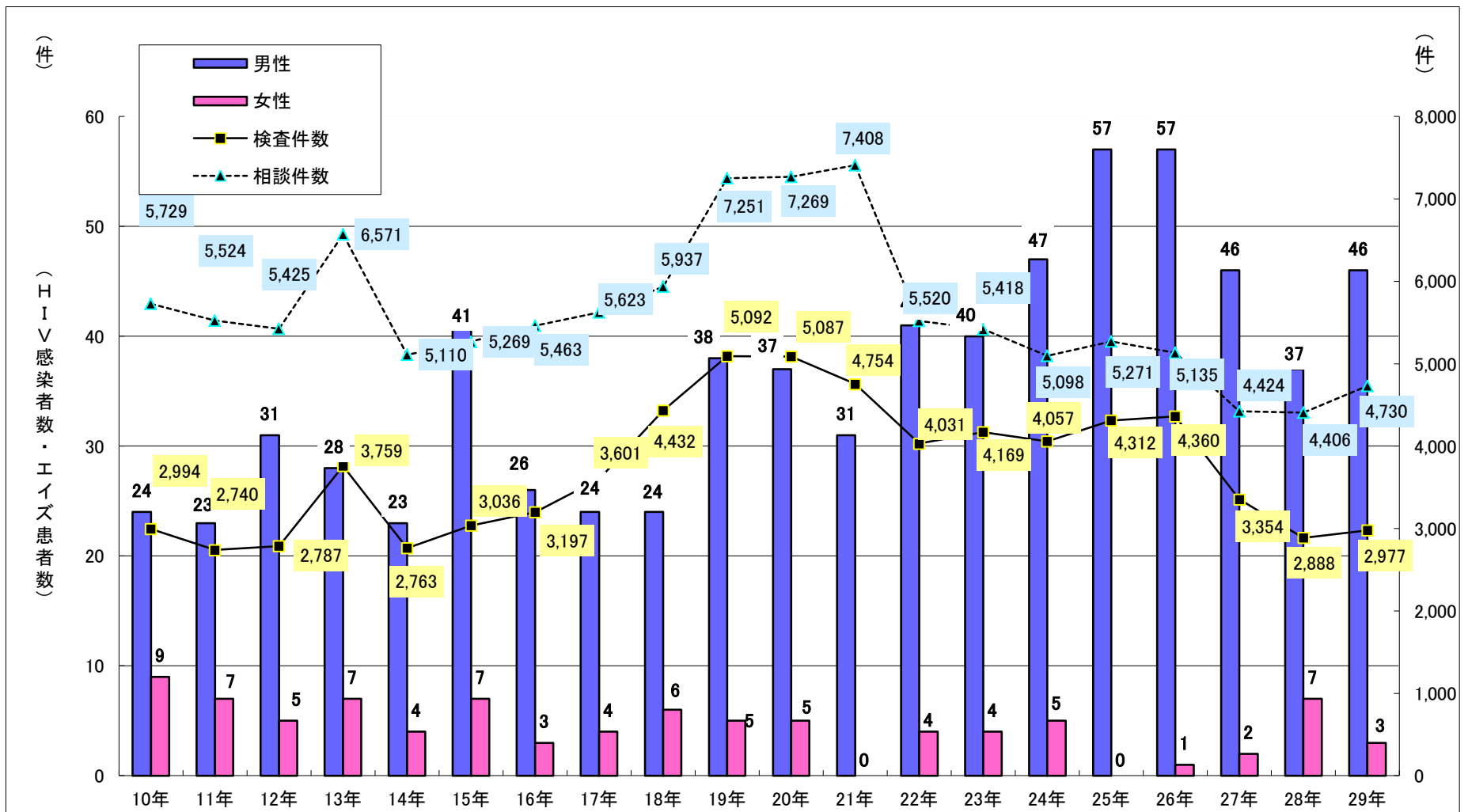
平成29年に本市に新たに報告された「HIV感染者」は、34件のうち男性31件(91.2%)、女性3件(8.8%)、「エイズ患者」は15件のうち男性15件、女性0件で、総数では49件であった。

(注) 「HIV感染者」とは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているが無症状の潜伏期にある者。

平成29年の本市のHIV検査・相談事業の実施総数は相談が4,730件、検査が2,977件であり、前年より相談は322件(前年比7.3%)、検査数は89件(同3.1%)増加した。検査の実施施設別にみると各区福祉保健センター(昼間)が763件(25.6%)、夜間が1,124件(37.8%)、土曜746件(25.1%)、日曜344件(11.6%)であった。前年と比較して平日昼間は119件(前年比18.5%)増加し、夜間検査は150件(同15.4%)増加した。

平成29年のHIV検査の陽性者数は9件(陽性割合0.3%)であり前年(14件0.5%)より減少した。実施場所別にみると各区福祉保健センター2件(前年2件)、夜間5件(同3件)、土曜2件(同7件)、日曜0件(同2件)であった。

横浜市内 HIV感染者・エイズ患者数とHIV検査・相談件数の年次推移



	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
HIV感染者新規報告数	33	30	36	35	27	48	29	28	30	43	42	31	45	44	52	57	58	48	44	49
(うちAIDS患者)	(11)	(9)	(11)	(16)	(8)	(19)	(9)	(10)	(11)	(17)	(11)	(6)	(14)	(10)	(18)	(12)	(16)	(19)	(13)	(15)
男性	24	23	31	28	23	41	26	24	24	38	37	31	41	40	47	57	57	46	37	46
(うちAIDS)	(9)	(9)	(11)	(13)	(8)	(15)	(9)	(9)	(9)	(15)	(8)	(6)	(12)	(10)	(16)	(12)	(15)	(18)	(11)	(15)
女性	9	7	5	7	4	7	3	4	6	5	5	0	4	4	5	0	1	2	7	3
(うちAIDS)	(2)	(0)	(0)	(3)	(0)	(4)	(0)	(1)	(2)	(2)	(3)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)
相談数	5,729	5,524	5,425	6,571	5,110	5,269	5,463	5,623	5,937	7,251	7,269	7,408	5,520	5,418	5,098	5,271	5,135	4,424	4,406	4,730
検査数	2,994	2,740	2,787	3,759	2,763	3,036	3,197	3,601	4,432	5,092	5,087	4,754	4,031	4,169	4,057	4,312	4,360	3,354	2,888	2,977
昼間	1,715	1,575	1,511	2,213	1,354	1,516	1,518	1,307	1,476	1,787	1,637	1,380	818	786	723	746	729	667	644	763
夜間	1,146	1,019	957	911	589	704	855	822	817	942	1,145	1,146	1,165	1,596	1,635	1,806	1,847	1,237	974	1,124
土曜	133	146	319	635	820	816	824	1,472	2,139	2,363	1,966	1,598	1,475	1,254	1,136	1,155	1,176	975	818	746
日曜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	339	630	573	533	563	605	608	475	452	344

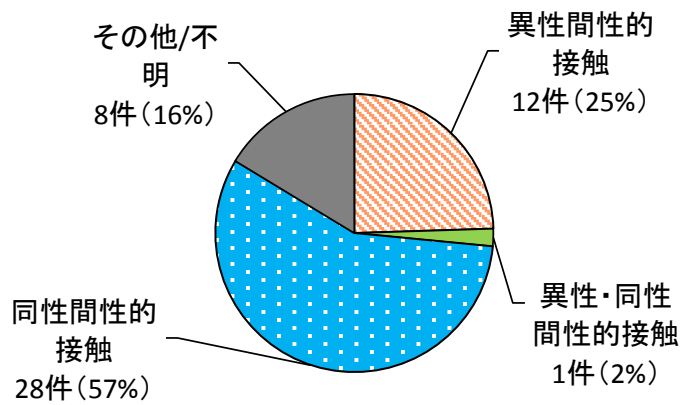
2 新規報告されたHIV感染者・エイズ患者の状況

平成29年のHIV/エイズの感染経路別にみた報告数は、同性間性的接触が28件、異性・同性間が1件、異性間が12件、その他/不明が8件であった(図1)。また、女性の報告数は3件(6.1%)で前年の7件(15.9%)より減少し、女性の感染経路は、すべて異性間性的接触であった。

感染地域別では国内が38件(77.6%)、国外が3件(6.1%)、不明8件(16.3%)であった。(表1)

年齢区分別で多い年代は、HIV感染者は20歳代が、エイズ患者は40歳代であった。(図2)

図1. HIV感染者・エイズ患者の感染経路別割合

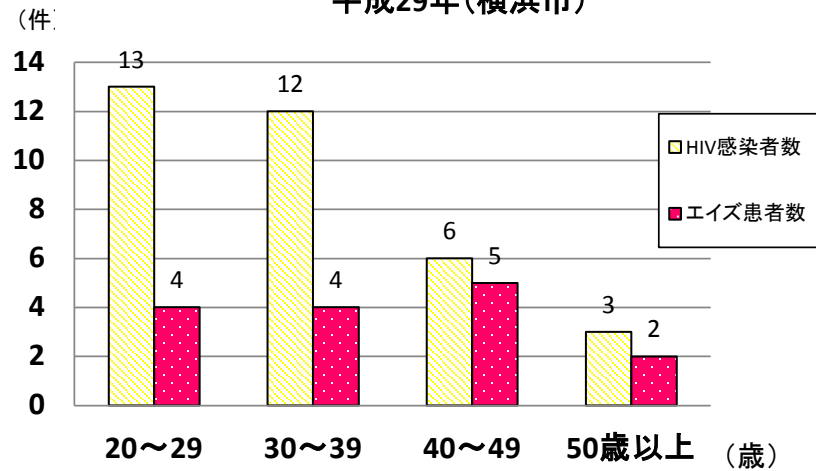


横浜市AIDS市民活動センター
マスコット「コムちゃん」

表1. HIV感染者・エイズ患者の感染地域別報告数

	国内	国外	不明	(件)
男性	36	3	7	
女性	2	0	1	

図2. HIV感染者・エイズ患者の年齢別区分別報告数
平成29年(横浜市)



3 梅毒の状況

平成29年に本市に報告された梅毒患者は、134件のうち男性86件(64.2%)、女性48件(35.8%)で前年より3件(前年比2.2%)減少した。

男女別、年齢別では男性は20歳代~40歳代が多く、女性は20歳代~30歳代が多く報告された。

梅毒は近年全国的に、男女ともに急増しており、本市でも平成24年から平成28年までで約9倍に増加している。平成29年の総数は前年より横ばいだが、女性(特に30代)の報告数が増加した。(図3、4)

病期別では、無症状病原体保有者41件(31%)、早期顕症梅毒Ⅰ期51件(38%)、Ⅱ期42件(31%)であった。(図5)

図3. 梅毒患者男女別の推移
(横浜市)

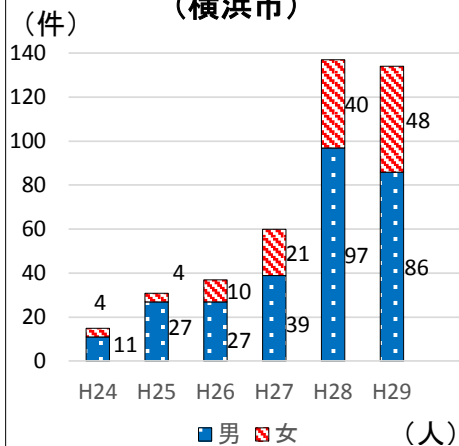


図4. 梅毒患者男女別、年齢別内訳
平成29年(横浜市)

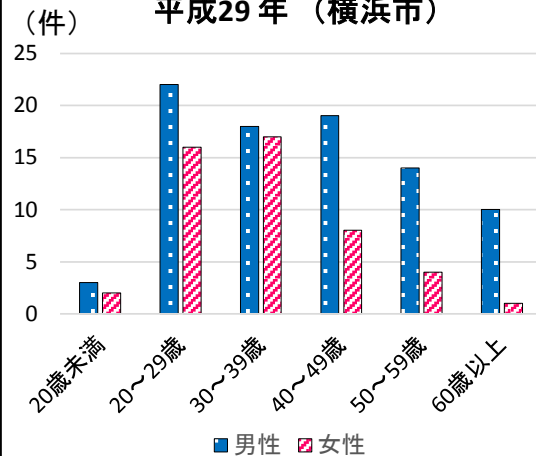


図5. 梅毒患者の病期
平成29年(横浜市)

